

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 萩ヶ丘 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

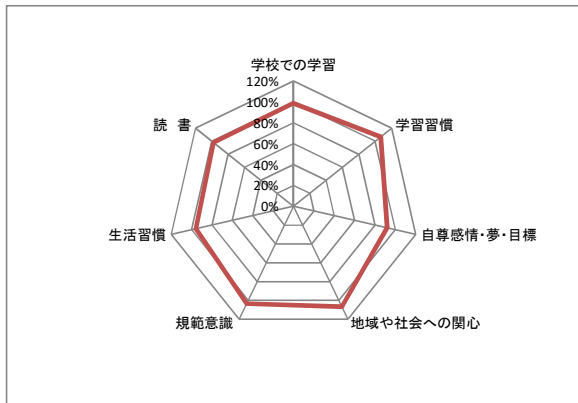
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている。しかし、文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	3「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る問題」	
	努力が必要な問題	三(2)イ「分の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる問題」	
算数	全体的な傾向や特徴など	帯グラフから読み取れることを選択したり書いたりすることはできるが、選択肢を読み解き解釈することが苦手である。また、「直角三角形の面積を求める問題」では、問題文にある数値を全て用いている誤答が多かった。このことから、公式の意味や成り立ちを意識させることが必要である。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	4(2)「商が1より小さくなる等分線(整数)÷(整数)の場面、場面から数量の関係を捉えて情報の式に表し、計算をすることができるかどうかをみる問題」	
	努力が必要な問題	2(1)「三角形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる問題」、3(2)「棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかどうかをみる問題」	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析	
○	戸ノ上中学校区で取り組んでいる「スタディー・ウィーク」の成果があり、【学習習慣】は定着してきた。しかし、「自分で計画を立てて勉強している」と肯定的に回答している児童の割合は全国平均を下回っていることから、反復学習だけでなく、児童が主体的に取り組む「調べ学習」等の充実が必要である。
●	【自尊感情・夢・目標】が全国平均を下回っている。しかし、「人の役に立ちたい」と肯定的に回答している児童は全国平均を上回っていることから、自己の課題としっかり向き合うことができていると考える。今後は、学校行事等を通じて、自己のよさに気が付くことができるようにしていくことが必要である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・各授業では、引き続き、児童の言葉で「めあて」「まとめ・振り返り」を設定することを全校体制で行う。また、定期的に授業公開を伴う校内研修も実施する。タブレット端末で授業を録画し、全職員がいつでも視聴できる環境を整えることで、全ての教職員で授業改善に取り組んでいく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・「学校だより」等を通じて基本的な生活習慣の定着に向けた啓発を今後も行い、各家庭と学校が協力して取り組んでいく。引き続き、児童の家庭学習ノートを展示し、進んで家庭学習に取り組む態度を養う。